

# 令和八年度 学校推薦型選抜

## 小論文

### 試験問題

#### 国語領域専攻

\*\*\*\*\*

#### 注意事項

- 一. 監督者の指示があるまで、試験問題を開いてはいけません。
- 二. この試験問題の表紙に記載されている専攻が、自分が受験する専攻と一致しているか確認してください。
- 三. 試験問題と解答用紙は別になっています。
- 四. 試験問題は表紙を除いて5ページ（下書用紙を含む）、解答用紙は4ページとなっています。落丁、乱丁及び印刷不鮮明な箇所等があれば、すぐ申し出てください。
- 五. 監督者の指示に従って、解答用紙すべてのページに受験番号を必ず記入してください。氏名を記入してはいけません。
- 六. 解答に字数制限がある場合、句読点は字数に数えます。
- 七. 解答用紙は持ち帰ってはいけません。試験問題は持ち帰ってくだ  
さい。
- 八. その他のことについては、監督者の指示に従ってください。

## 国語領域専攻

(5枚の1)

問 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

基本は大人になってから

最近、パッケージデザインの作業で、ある円筒形の缶の周囲を測ることになり、事務所のものにそれを命じた。

どうするか、と何気なく観察していると、彼女はまずコピー用紙の一边を切り、長い紙の帯を作った。それを缶に巻き丁度一周したところに印を付け、それを机の上にあらためて広げ、定規で長さを測った。巻き尺などが無い時には、一番手っ取り早い方法である。「33センチです」と彼女は教えてくれた。念のため直径も測ってみて、と言うと手にしていた定規ですぐ測り「10・5センチです」と言った。次に「じゃあ、さっきの数字を今の直径で割ってみて」とわり算を命じた。電卓を打ち、その数字をじっと見て彼女はすごく嬉しそうに答えた。「 $3 \cdot 14$ になりました」。嬉しそうな理由は次の次に発した言葉に出ていた。「もしかして、円周率」というのは円周と直径の比率のことだったんですね」

彼女は円周率 $\pi$   $3 \cdot 14$ というお題目のように覚えていたことに①真の意味を見出し、それが嬉しかったのである。

そんなこと当たり前じゃないか、という方も多いと思うが、僕がここで言いたいのは、彼女の無知でもなく、小学校の教育が不十分だ、ということでもない。むしろ、彼女は一般的には才媛だし、かたや小学校の授業では必ずと言っていいほど、直径と円周の関係についてはちゃんと教えている。では、なぜ能力もあり、教育も受けたのに、こんな基本的なことが抜けていたのであろうか。それは、一種の盲点かもしれない。実は②「基本的な」ことこそ、それがなぜ基本的で重要なかは理解できにくい」のである。

かつて、小学校の算数に「数学の基本」だからという理由で「集合」が登場したことがあった。赤いものの集合を挙げなさいといった問題が出され、リングとか郵便ポストと答えると丸がもらえた、それは難しい分数の計算で丸をもらうのと違い、なにか変だった。みんな丸をもらえるものだから、特に何も言わずその時期を通りすぎていた。多分、先生も数学の基本概念と言いつつ含められて現場に降りてきたものだから、素直に「変だ」と言えない状況がしばらく生まれたのであろう。一種の裸の王様状態である。それも「基本が大事」ということを金科玉条として、記号的にみんなが受け止めていたせいではないだろうか。

「基本が大事」ということと「基本から教える」ということは単純にイコールではない。数学を追究していくと、無限などの概念を明確にする上で集合論は重要で、数学の体系はその上に成り立っていることがわかる、つまり、数学において集合はとても基礎

国語領域専攻

( 5枚の2 )

的な考え方なのである。しかし、基礎だから小学生から教えるというのは、あまりに短絡的であった。基礎こそ、それが基礎であるということがわかる位のハイレベルな理解が必要なのである。

小学校でも中学校でも、教わることはたくさんある。その上で、どれが基本的な考え方でどれが末節な知識なのかという、ウェイト付けのような高度な知的作業は、自分が小中学生だった時のことを思い出せば無理な事がわかる。しかし、我々は、なにも小学校や中学校で完成というわけではない、僕の事務所の人間のように、円周率の本当の意味を取り戻すチャンスは必ずやってくるのだ。(その時のためにも円周率は約3ではなく3.14と教えるべきである)。このように「基本的なことが何故基本的なのか」が自らわかるのは、一度いろんなことがわかった上での事である。

「基本が大事」なのは勿論である、しかし同時に、基本を学ぶことは難しい。だとしたら、僕はいつか、基本の大切さや意味を取り戻すための義務教育のアフターサービスのような新しい教育を、TVやインターネットなどのメディアでやってみたいと思っている。

(佐藤雅彦『毎月新聞』)

問一 傍線部①「真の意味」とはどういうことか、説明しなさい。

問二 傍線部②「基本的なことこそ、それがなぜ基本的で重要なのかは理解できにくい」のはなぜか、理由を述べなさい。

問三 「基本が大事」であることを理解するためにはどうすればよいか。あなたのこれまでの生活で「基本が大事」であることに気づいた経験を具体例として挙げながら、その経験に即してあなたの考えを一二〇〇字以内で書きなさい。(下書き用紙は必要に応じて使ってください。)

# 令和八年度 学校推薦型選抜

## 小論文

### 試験問題

#### 社会領域専攻

\*\*\*\*\*

#### 注意事項

- 一. 監督者の指示があるまで、試験問題を開いてはいけません。
- 二. この試験問題の表紙に記載されている専攻が、自分が受験する専攻と一致しているか確認してください。
- 三. 試験問題と解答用紙は別になっています。
- 四. 試験問題は表紙を除いて五ページ（下書用紙を含む）、解答用紙は三ページとなっています。落丁、乱丁及び印刷不鮮明な箇所等があれば、すぐ申し出てください。
- 五. 監督者の指示に従って、解答用紙すべてのページに受験番号を必ず記入してください。氏名を記入してはいけません。
- 六. 解答に字数制限がある場合、句読点は字数に数えます。
- 七. 解答用紙は持ち帰ってはいけません。試験問題は持ち帰ってください。
- 八. その他のことについては、監督者の指示に従ってください。

## 社会 領域 専攻

(五枚の一)

日本では、十年以上、コミックやアニメの暴力描写が社会的に大きな話題になったことはない。ヨーロッパで日本製アニメが「暴力的」であるとして批判されていることが時々紹介される以外には。コミックやアニメの暴力描写になんの問題もないと一般に考えられているわけではなく、日本に深刻な青少年の暴力問題がないのでもない。しかし、青少年の暴力問題が発生したとき、その原因をTVアニメやコミックの暴力描写と直接的短絡的に結び付けるような論調は少ないのである。(中略)

わたしもまた、TVアニメやコミックの暴力描写が、現代日本の抱える多分に屈折した青少年の暴力問題に直接影響を与えているとは考えない。むしろ、青少年の引き起こす暴力問題の主要原因は、日本における教育現場(学校)のあり方、ひいては日本の家庭や社会の現在のあり方にあり、そのひずみが同時に、暴力的なものを含むTVアニメやコミックやテレビゲームなどのもたらすファンタジーに子供たちが逃げ込む原因をなしているのだと考えている。しかしまた、こうして一旦ファンタジーに逃げ込んでしまった子供たちが現実不適合に陥り、問題行動を引き起こすことがあるのも事実であり、その場合、かれらの心のうちに育まれた暴力的ファンタジーが強い影響を与えるであろうことを認めないわけにはいかない。

日本社会は、子供たちの正常な成長意欲を助け、かれらに大人になるための必要な機会を与えることを怠り、ただ子供たちの頭に勉強を詰め込むことだけに熱心だった。日本の知育偏重の学校教育制度は、子供たちを徹底的に管理し、集団主義を強制しつつ競争に追い込むことによって、一方では「おちこぼれ」とよばれる不適応者(かれらの多くは「非行少年・少女」や「不登校児」となる)を生み出し、もう一方では、適応しているかにみえる子供たちの心に欲求不満を蓄積させている。

日本製のTVアニメにきわめて特徴的なことのひとつが、多くの英雄的な主人公たちが子供である、ということである。かれらは子供でありながら、大人たちより力が強く、判断力も勝り、正義感も強い。そして社会に出て大活躍し、悪人をやつつける。これらの作品群は、日本の子供たちに「自己拡張幻想」というアメをしゃぶらせることによって、満たされない成長意欲を吸収し、欲求不満の暴発をある程度抑える役割を担ってきたのである。これらの作品群は、いわば車の両輪のように、管理教育制度と補完し合う関係にあったといわなければならない。

しかし、現在多発し、社会的に問題になっている「いじめ」は、それが学校に適応しているはずの生徒たちによって引き起こされている点で深刻であり、子供たちの欲求不満はもはや非現実的なファンタジーなどで吸収されないほど高まっているのだ、と考えざるをえない。「いじめ」とは、学校、とくに中学校の学級内の人間関係において、複数の生徒によって固定された一人を標的にくりかえし行われる暴力である。ここで言う暴力とは、身体への直接的なものだけではなく、言葉や身振りによるいたぶりや当人の意思に反した

社会領域専攻

(五枚の二)

ことの強要なども含まれる。加害者の生徒たちはいわゆる「非行少年」ではなく、普通の生徒たちであり、加害者意識がきわめて乏しい。まわりの生徒たちも自分が標的になることを恐れて、傍観者の態度をとる。ここ数年の間に、「いじめ」の被害者である子供が、親にも打ち明けられないまま、それを苦にして自殺するという事件が相次いで起こっている。) soしていまや日本では、機械としかコミュニケーションの取れない大人、大人になれない大人、大人になりたくない大人が増え、深刻な問題となりはじめている。

高畑勲「映像と暴力」『映画を作りながら考えたことⅡ』徳間書店(一九九九年)

問一 本文の内容を二〇〇字で要約しなさい。

問二 この文章の初出は一九九六年である。当時と現在とでは、映像技術や日本の社会にも変化があると考えられる。そのことを踏まえつつ、著者の主張の妥当性の有無について、二〇二五年現在の視点から八〇〇字以内で論じなさい。

三 五枚目は下書き用紙のため省略します。

# 令和8年度 学校推薦型選抜

## 小論文

## 試験問題

### 英語領域専攻

\*\*\*\*\*

#### 注意事項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題を開いてはいけません。
2. この試験問題の表紙に記載されている専攻が、自分が受験する専攻と一致しているか確認してください。
3. 試験問題と解答用紙は別になっています。
4. 試験問題は表紙を除いて5ページ（下書用紙を含む）、解答用紙は3ページとなっています。落丁、乱丁及び印刷不鮮明な箇所等があれば、すぐ申し出てください。
5. 監督者の指示に従って、解答用紙すべてのページに受験番号を必ず記入してください。氏名を記入してはいけません。
6. 解答に字数制限がある場合、句読点は字数に数えます。
7. 解答用紙は持ち帰ってはいけません。試験問題は持ち帰ってください。
8. その他のことについては、監督者の指示に従ってください。

## 英語領域専攻

( 5枚の1 )

問1 次の文章をよく読んで、内容を400字以内の日本語で要約しなさい。なお、\*を付した語句には注がある。

Teaching is inherently\* complex. Teachers need to navigate the complexity of the often unpredictable and sometimes chaotic realities of classrooms, where students have diverse needs and abilities, resources are limited, time is constrained, and numerous day-to-day challenges arise. They need a deep understanding of both content and pedagogical\* strategies informed by research, but also adaptability, creativity, and responsiveness. Teaching is a science, but so too an art and craft. (中略)

The report examines five teaching goals to high quality teaching and 20 practices that teachers draw upon to achieve them. (中略)

### *Ensuring cognitive engagement*

Cognitive engagement centres on creating the conditions for students to put forth a sufficient and sustained effort to persist in understanding a complex idea or solving challenging, unstructured problems. To do so, teachers ensure appropriate levels of challenge, embed\* meaningful context and real-world connections, facilitate first-hand experiences, work with multiple approaches and representations, and nurture\* students' metacognition. Cognitive engagement can seem enigmatic\*, as it is difficult to observe. Teachers must carefully consider where students are in their learning alongside the cognitive load of learning opportunities. They accordingly fluidly adapt their role in terms of scaffolding\* and stretching student thinking, all the while carefully attending to how they also support students' ability to reflect on and manage their learning.

### *Crafting quality subject content\**

Quality subject content focuses on building a deep understanding of subjects – from the subject's core ideas and skills to a critical eye of how to apply these. Teachers ensure quality subject content by crafting explanations and expositions, providing clear, accurate, and coherent contents, making connections, and interrogating\* the nature of the subject. Its complexity hinges upon\* understanding, on the one hand, how to look backwards to students' prior learning to build sound, robust\* understanding that lasts, but also how to look outwards to ensure that connections and patterns in the subject matter are steadily built and enriched.

## 英語領域専攻

( 5 枚の 2 )

### *Providing social-emotional support*

Social-emotional support focuses on nurturing a supportive classroom climate and building positive relationships that are conducive\* to learning. It is also though\* about furthering students' social-emotional development, with teachers explicitly teaching social-emotional skills and providing opportunities for students to actively practise these skills. (中略)

### *Fostering classroom interaction*

Teachers facilitate high-quality interactions in the classroom through questions and responses, organizing opportunities for students to collaborate, and whole-class discussions. The complexity for teachers lies in establishing clear routines, balancing teacher and student agency, ensuring an equitable environment of interaction.

### *Using formative assessment\* and feedback*

Formative assessment and feedback is the ongoing process of teachers carefully evaluating and guiding students' progress through setting learning goals, diagnosing\* student learning, providing feedback, and adapting to student thinking. Teachers must be attentive to the complex demands of choosing the best timing for different practices and attending to individual needs in large and diverse classrooms, all the while ensuring that students have agency to also steer their learning.

【出典】 OECD (2025), *Unlocking High-Quality Teaching*, OECD Publishing, Paris,  
<https://doi.org/10.1787/f5b82176-en>. (2025 年 10 月 27 日最終閲覧)

【注】 inherently: 本来は pedagogical: 教育学の embed: 埋め込む  
nurture: 助長する enigmatic: 謎めいた scaffolding: 足場かけ (教師が学習者  
に対して一時的かつ調整的な支援を提供すること) Crafting quality subject  
content: 教科内容の質を高めること interrogate: 問いただす  
hinge(s) upon: ~次第である robust: がっしりした conducive: 助けになる  
though: この語を削除しても文意は変わらない。 formative assessment: 形成  
的評価 (学習指導の途上で学習活動の促進と指導方法の確認・修正のために行う  
評価) diagnose: 診断する

問 2 上記の文章中の 5 つの目標を踏まえて、あなたは英語を担当する教員としてどのような授業を実践していきたいと考えるか、800 字以内の日本語で具体的に述べなさい。

Used with permission of OECD, from *Unlocking High-Quality Teaching*, © 2025; permission conveyed through Copyright Clearance Center, Inc..

3～5枚目は下書き用紙のため省略します。